

公表：令和 元年 10月 27日

事業所名：やまだこども教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○		・5名体制を取り、どの空間にも目が行き届くように心がけております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・利用時等に、どの空間は何をする場所なのかをご説明するなど、構造化に関しては理解を促せていると思います。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・整理整頓・清掃を毎日行い、活動に合わせたレイアウトにしております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・業務内容全体では行っておらず、限定されたものになっているため、業務をチームで行い、定期的なチームミーティングを実施し参ります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・評価は実施しましたが、全保護者に配布出来ておらず、全体の把握には至らなかったため、次年度は出来るだけ全体への配布ができるよう、心掛けてまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・掲示板で公開しておりましたが、ホームページでの公表は出来ていなかったため、早急に対応して参ります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者評価は実施していないため、今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・各職員の得意な分野をテーマに内部研修を実施しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			・アセスメントの観点で行動観察をし、ニーズを把握した上で、支援計画を作成しております。しかし、アセスメントツールを活用している訳ではなく、関係機関で実施した各種心理検査を保護者に提出していただき、参考にした支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・アセスメントツールの使用に関しては、今後検討して参ります。

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				・概ね設定されていますが、「地域支援」については設定ができていないため、今後の検討課題とします。
--	---	--	---	--	--	--	--

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				・児童の状態によっては、固定された方が安心して活動できる場合もあるため、状況に応じて対応をして参ります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				・「個別活動」と「集団活動」、それぞれに支援計画を作成している訳ではないが、支援計画の中で必要に応じて設定しております。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				・支援終了後に、概ね保護者の方にフィードバックを実施しており、その都度二週間の確認および見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				・保護者の方のニーズに応じて、主に保育園・幼稚園との状況共有、連携を行っています。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	-	-	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	-	-	

護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・直接的に、学校との情報共有は行っておりませんが、各区市町村の就学相談等には情報提供をしています。保護者の方のニーズに応じては実施できるように準備をしています。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・保護者の方のニーズや連携の機会がなかったため実施していません。必要に応じて行って参ります。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・設定できていないため、今後の検討課題とします。

保護者への説明責任等	②9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・支援終了後に、概ね保護者の方にフィードバックを実施しており、家庭での状態や支援時の状態を共有しています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・支援終了後のフィードバック時に対応等の相談支援を実施しています。また個別面談も併用して実施しています。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時等に説明を行っています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・家族支援プログラム同様、支援終了後のフィードバック時に対応等の支援を実施しています。また個別面談も併用して行っています。
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会等は実施できていないため、必要性も踏まえて、実施の検討をしていきます。	
③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			

	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・会報の準備はしてはありますが、発行の手続きには至っていないため、次年度以降の検討して参ります。
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・地域との関わりを企画できていないため、検討して参ります。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		・作成できていないマニュアルもあり、早急に作成する必要があります。また、訓練に関して、避難訓練以外は実施できていないので、計画を立てて実施をしていきます。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に、服薬等の注意事項を確認しております。またアレルギーへの対応も保護者の方と相談をして実施しております。	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		・ヒヤリハット事例が少ないこともあり、作成しておりませんが、小さなことでも作成して共有を図って参ります。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	-	-		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 元年 10月 27日 事業所名 やまだこども教室 保護者等数 17名 回収数 10名 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	0	・先生方はたくさんいる ・レベルがまちまち	・研修、勉強会等で専門性を高めていきたいと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	6	0	4	・教室の出入り口が狭い	・ベビーカー、車いすは通れる幅には設定しておりますが、ベンチ等も配置しているため、ご迷惑お掛けしております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	4	0	0		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	2	0	0	・作成通りの活動になっていない	・児童の状況に応じて活動にも変化をつけているため、保護者の方と状態も共有しつつ、フィードバックを徹底していきたいです。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	0	8	0	2	・地域支援はないと思う ・地域との関わりは必要がないと思う	・「地域支援」の必要性を法人でも検討しつつ、保護者の方ともご相談していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	3	0	0	・計画通りの活動になっていない	・上述の通り、児童の状況に応じて活動にも変化をつけているため、保護者の方と状態も共有しつつ、フィードバックを徹底していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	3	0	2	・やっていることは同じことの繰り返しのような気がする	・プログラムは同じですが、内容には変化をつけているため、フィードバックを徹底して参ります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	6	0	・交流の必要性は感じない	・「地域支援」と同様であるが、必要性を法人でも検討しつつ、保護者の方ともご相談していきます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0	・契約のときに受けた	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	2	1	0	・ガイドラインの説明はなかった	・支援計画のご説明時に、ガイドラインのご説明もさせていただければと思います。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	3	1	0	・プログラムはないが、話は聞いてもらってる ・家族の話は聞いてもらえている	・プログラムとして設定してなくても、要素を含んでいる対応のことが多いため、それらのご説明も含めてフィードバックを徹底して参ります。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	0	0	2	・毎回説明してくれるので助かっている	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	1	0	・毎回のフィードバックとは別に話をする機会がほしい	・面談をご希望の場合は設定させていただいているが、希望時の面談の実施を周知できていない可能性があるため、周知をしております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	10	0	・必要性を感じない ・情報共有の場があってもいいと思う	・父母会の必要性はあまり感じないというご意見であったが、情報共有の場はニーズがあるようなので、検討をしております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	0	1	0	・申し入れをすると面談の機会を設けてくれる	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0	0	・毎回終了後にその日の様子を聞かせてもらっている	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	2	・HPはあまりみていない ・HPを見られない	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	0	0	10	0	・説明を受けていない	・作成できていないマニュアルもあり、早急に作成する必要があります。また、訓練自体は避難訓練以外は実施できていないので、計画を立てて実施をしていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	6	0	・避難訓練をしっかりとっていた ・避難用具はあるが、訓練をしているかは分からない	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	2	0	0	・毎回楽しみにしている	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8	2	0	0	・満足している ・専門職がいらっしゃるので安心している	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。